

水戸三高 文芸部 く あざりー おんらいんく

はじめまして。文芸部です。私たちは一年生九名で、週に二回活動をしていきます。今までは年に二回、部誌「あざりー」を発行していましたが、より多くの方に作品を読んでもらいたく、ホームページをたちあげました。

記念すべき【あざりーおんらいん】第一回目は「短歌」です。テーマを決めずに自由に詠んでいます。そのため、本人の趣味や個性がわかりやすく出ているかもしれませんね。

『短歌』

紅の 夕陽が照らす 帰り道 淡い色彩 今日の終わり 七詩

澄んだ蒼 触れたら割れて 無くなって 遠くの銀河 私を包む

七詩

地が揺れて 瓦礫の山が 築かれて 開けた空に 見えてきたもの

旅生音

「また明日」 手を振り笑う 君の声 夕景の中 赤く溶けゆく

八千夜

朝勉派 だから見つけた 眺めあり霧の海から 昇る輝き

うみはな みか

授業中 机の上に 黒い点 ソイツの正体 ゴキブリベイビー

うみはな みか

崩れてく 私の中の ピースたち 冷たい視線 身体貫く

虹華

しんとした 深夜に響く 除夜の鐘 百八点で ざわめき戻る

紅葉

色付く葉 揺らす北風 つめたくて 秋の訪れ 肌で感じる

遊佐

かぶと虫 自慢のツノで 闘う日 地面の下で ねむり待っている

音子

帰り道 白い息吐き 走り出す 明かりのともる 家を目指して

藤崎 零